

(必ず募集団体のホームページの内容をご確認ください。)

NO.365	<a href="#">第51回（令和8年度）井上春成賞</a>
研究助成等団体名	<a href="#">国立研究開発法人科学技術振興機構（井上春成賞委員会）</a>
団体締切日	2026年2月27日（金）※推薦書データは同 正午必着 （推薦書原本及び付属書類は郵送にて2月27日（金）の消印有効）
助成対象者	研究者あるいは企業等のうち、少なくとも一方が日本国籍である組み合わせにより企業化された技術であることを要件とします。
助成金額・件数	【表彰内容】 表彰対象の研究者 賞状、賞牌、研究奨励金200万円 【表彰件数】 原則として2件 【授賞者】 原則として、表彰対象技術ごとの研究者1名および企業代表者1名
助成事業概要等	<p>【井上春成賞の趣旨】 井上春成賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発、企業化した応募の中から特に優れたものを表彰する賞です。科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上などに貢献したものを選考の趣旨とします。</p> <p>【対象技術】 （１）大学等や研究機関などの独創的な研究結果であること （２）前項の研究結果を受けて企業が開発し、企業化した技術（販売実績があるもの）であること （研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究者および企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。） （３）科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康福祉の向上などに貢献した技術であること （中堅・中小企業技術の場合、技術上の特徴、市場特性についても別途考慮します。） （４）企業が実質的販売活動を始めてから、原則５年以内の技術であること 但し、短期間では成果が出にくい分野の技術については、その特性を考慮して、必ずしも実質的な販売活動を始めてから５年以内の技術であることにはこだわりません。尚、広く研究開発を奨励するために、大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村産業賞本賞、恩賜発明賞を受賞した技術を除きます。</p> <p>※詳細は応募要項をご確認ください。</p>
備考	※推薦者：本技術における深い知識を有する方であれば、自薦・他薦および役職は問いません。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。